別紙様式５号（第７の３及び第８の３関係）

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

１　産地基幹施設等支援タイプ
Ⅰ　産地競争力の強化を目的とする取組用

（都道府県名：埼玉県　　令和６年度）

市町村名	事業実施主体名	メニュー① （対象作物・畜種等名）①	類別	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況① 計画時（令和元年）	事業実施後の状況① １年後（令和３年）	事業実施後の状況① ２年後（令和４年）	事業実施後の状況① ３年後（令和５年）	事業実施後の状況① 目標値（令和５年）	事業実施後の状況① 達成率	成果目標の具体的な実績①	メニュー② （対象作物・畜種等名）②	類別	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況② 計画時（令和元年）	事業実施後の状況② １年後（令和３年）	事業実施後の状況② ２年後（令和４年）	事業実施後の状況② ３年後（令和５年）	事業実施後の状況② 目標値（令和５年）	事業実施後の状況② 達成率	成果目標の具体的な実績②	事業内容 （工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費 （円）	負担区分（円） 交付金	負担区分（円） 都道府県費	負担区分（円） 市町村費	負担区分（円） その他	完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
入間市	首都圏アグリファーム株式会社	畑作物・地域特産物（茶）	F10	産物１kg当たり労働時間を直近値の２％以上低減	0.03006hr/kg	0.02585hr/kg	0.01253kr/kg	0.00947hr/kg	0.00816hr/kg	94.0%	産物1kg当たり労働時間が0.02190hr/kg 削減された。	畑作物・地域特産物（茶）	F15	事業実施地区等において、茶栽培面積のうち早生品種と晩生品種の合計の作付面積が直近より２ポイント以上増加	37.6ポイント 18.22ha/48.52ha	43.8ポイント 25.02ha/57.14ha	48.1ポイント 29.27ha/60.80ha	54.1ポイント 35.03ha/64.8ha	63.0ポイント 34.58ha/54.88ha	64.9%	事業実施地区等において、茶栽培面積のうち早生品種と晩生品種の合計の作付面積が16.5ポイント増加した。	製茶工場棟 1棟 (1,671.52㎡) 荒茶製造ライン 1式 (処理能力1,500kg/h)	664,060,760	294,745,000	0	0	369,315,760	令和4年3月31日	成果目標Ⅰ 施設稼働２年目。産物1kg当たりの労働時間が計画時より0.0206hr/kg削減。目標比は▲0.00131hr/kg未達。 今後も施設の安定稼働を継続して、機能を最大限に活用し、効率的な運用を行い、労働時間の削減に努めたい。 成果目標Ⅱ 毎期実施している新植改植によって、茶栽培面積のうち早生品種と晩生品種の合計の作付面積が計画時より16.5ポイント増加。目標比は▲8.9ポイント未達。 今後も定期的な改植を実施して、早生品種と晩生品種のバランス取れた栽培面積が維持できるように圃場管理を推進して参りたい。	成果目標Ⅰ 目標達成率94％であり、概ね目標を達成した。引き続き労働力を削減するよう指導していく。 成果目標Ⅱ 達成率65％で未達なため、早生品種と晩生品種の割合を高めていくよう指導していく。	R3実施R6評価年度

都道府県平均達成率	79.4%	総合所見	本年度評価分については、早生品種と晩成品種の合計作付面積の目標が未達となったため、引き続き当該品種の割合を高めるよう指導していく。評価年度前の事業については、目標年度までに目標達成できるよう、引き続き指導を行っていく。

（注）１　別紙様式１号の１の（２）のⅠに準じて作成すること。
２　要綱第３の２の（２）のアの（ア）のただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
３　別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
４「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
５「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
６「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。